

所報 第86号

管内の教育



主な内容

- 1 所長所感 私にとっての「ふるさと」とは・・・
- 2 出雲教育事務所の分掌
- 3 令和5年度管内の主な研究指定校・指定事業

出雲教育事務所
令和5年5月

私にとっての「ふるさと」とは・・・

出雲教育事務所 所長 三原 久義

新年度がスタートして約1か月が経ちました。各学校では、新しい教職員を迎えられ、子どもたちがいきいきとした姿で過ごしていけるように、支えていただいていることと思います。すべての学校において、充実した実りある教育活動が展開されますようにお祈り申し上げます。

さて、この3年間は新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は大きく変化し、学校運営も大幅に制限せざるを得ない状況が続きました。5月には感染症法上の位置づけが変更となりますので、感染リスクを少しでも減らしながら、子どもたちの学びの充実を求めていく必要が求められることとなります。

また、働き方改革の視点で考えると、すべての活動を新型コロナウイルスの流行前の状況に戻すかどうかを各学校で判断していくことが重要となります。何が必要で、何を縮小するのか、またはやめていくのか、判断が問われるところです。

島根県教育委員会では、今年度の管理職辞令交付式を取りやめましたが、野津教育長から教育長訓辞が示されていますので、その一部を紹介させていただきます。

島根県では「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」の実現を目指し、「島根創生計画」による取組を進めています。「島根創生計画」に掲げる「人づくり」は、島根に住む若者を増やし、その若者が、生産や消費といった経済活動だけでなく、地域の活力の源になることをゴールとしています。そのためには、島根が好きで、島根に暮らす未来を考え、島根で将来の自分の役割に思いを馳せる子どもを増やすことが大切です。

これは、子どもたちに「島根で暮らさない」と言っているのでは決してありません。子どもたちが島根にいたい、さらには、島根のために役に立ちたいと思えるためにはどうすればよいかという「問い」と私自身は考えています。そこで、私なりに2つのことを考えてみました。

1つ目は、まずは、我々大人が島根にいたい、島根のために役に立ちたいと思えることが大切ではないかということです。我々がこのような思いでなければ、子どもたちが島根にいたいと思えないのではないのでしょうか。島根に

ついて、何がよいと感じるのは人それぞれです。我々大人が、自分がよいと感じたことを、子どもたちに伝えていきたいものです。

2つ目は、「ふるさと」をたくさんもつことです。変なことを言うなと思われると思いますが、私の考えをお伝えします。一般的に「ふるさと」とは生まれたところ、育ったところ、我々は「ふるさと」で生まれ、育ち、成長してきました。人が成長するためには、多くの人と関わり、楽しいことを共有したり、時にはつらいことを共に乗り越えたりしていきます。私自身「ふるさと」という言葉の響きに、どこか懐かしく、安心感を覚えます。私にとって「ふるさと」は心の拠り所であり、居場所です。「心の拠り所」「居場所」「成長するところ」ということをキーワードとして考えると、自分と関わりあるところを「ふるさと」と捉えることもできるのではないかと思います。「家庭」「学校」「職場」など、これまで我々は様々なところを居場所とし、成長してきました。「趣味のサークル」なども加えてもよいかもしれません。その一つ一つを「ふるさと」と捉えると、人はたくさん「ふるさと」をもつことができるのではないのでしょうか。

私は、「家庭」「学校」「職場」など自分が関わってきたところで、様々な人たちに支えてもらい、助けてもらってきました。「ふるさと」との関わりが大きければ、大きいほど、「ふるさと」を大切に思い、よりよくしていきたいと考えていくと思います。子どもたちに1つでも多くの「ふるさと」をもってもらえるような取組をしていくことで、島根が好きで、島根に暮らす未来を考え、島根で将来の自分の役割に思いを馳せる子どもが多くなることにつながっていくのではないかと思います。

最後になりますが、管内の子どもたちと教職員の皆様が1つでも多くの「ふるさと」をもてるように、精一杯努めていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお祈りします。



令和4年度 私のふるさと（出雲合庁502会議室より）

令和5年度 学校教育スタッフ

16名の指導主事体制で学校、先生方をサポートします！

学校教育スタッフ指導主事兼企画幹 川上 淳一

今年度、出雲教育事務所学校教育スタッフは8名の指導主事、4市町に8名の派遣指導主事、計16名体制で、学校や先生方の支援を行います。授業力向上に係る支援はもちろん、指導力の育成や生徒指導、特別支援教育に係る相談等に指導主事が親身に対応します。「学校現場はスピードが命」、早い段階から相談をいただくことで、学校や先生方の困り感の軽減や取組から得られる自信につながるように、フットワークのよい学校教育スタッフを目指して、この1年間、指導主事一同で取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



【後列】

飯南町派遣 奥出雲町派遣 雲南市派遣 雲南市派遣 雲南市派遣 出雲市派遣 出雲市派遣 出雲市派遣
郷原 秀文 妹尾 俊介 白石 睦 渡部 千秋 佐藤 文宣 濱田 謙 広渡 良 片岡 千修

【前列】

【出雲合庁勤務スタッフ】

福田ゆかり 今岡 直子 飯塚 順也 川上 淳一 藤原 真実 早川 潤 糸原 進 八木 優

令和5年度 社会教育スタッフ

地域ぐるみの教育の充実を目指して

社会教育スタッフ社会教育主事兼企画幹 安井 寿裕

社会教育スタッフは、「フットワーク・ネットワーク・チームワーク」を大切に、管内市町の社会教育・生涯学習行政を支援します。社会教育主事は、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を目指し、ふるさと教育や家庭教育支援等の事業を、地域の多くの方々の協力を得ながら実践していきます。人権教育推進員は、全ての子どもたちの進路保障のために、中高接続や福祉との連携を視野に入れた取組をこれまで以上に推進します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



社会教育主事兼企画幹
安井 寿裕

奥出雲町派遣 雲南市派遣 雲南市派遣 人権教育推進員 出雲市派遣 出雲市派遣 飯南町派遣
石原 弘治 原 元宏 青木 浩平 松本 泰治 大國 亨 恩田奈穂子 若槻 慎也

出雲教育事務所の分掌

出雲合同庁舎勤務スタッフ

☎0853-30-5677

所 長	新 三 原 久 義	調 整 監 新 梅 木 喜 嗣	教職員の人事及び服務
		調 整 監 荒 木 早 苗	教職員の人事及び任用事務（総括）

☎0853-30-5724

☎0853-30-5680

総務課	総務課長 城 市 尚 美	教職員の人事及び任用事務 退職手当	主 幹 森 川 卓	非常勤講師報酬：主幹代替 初任研指導・代替、免外、その他 旅費・手当：出雲市小学校
	主 任 新 井 原 歩	非常勤講師報酬：にこサポ 学びいきいき、にこ特、SC 旅費・手当：雲南市小・中学校	主任主事 稲 葉 直 人	非常勤講師報酬：緊急対応 少人数代替、CST、新採養教 旅費・手当：出雲市中学校
	会計年度任用職員 中 尾 敦 子	マイナンバーの収集	会計年度任用職員 杉 原 祥 子	旅費・手当：奥出雲町・飯南町 小・中学校
ワーク センター	障がい者就労支援員 金 築 都	障がい者が行う作業の支援・ 指導		

学力 ☎0853-30-5682

生徒指導 ☎0853-30-5725

特別支援教育 ☎0853-30-5726

支援専任 ☎0853-30-5519

学校教育 スタッフ	指導主事 兼 企画幹 新 川 上 淳 一	国語、図書館活用教育	指導主事 飯 塚 順 也	社会、道徳、人権教育 学校訪問、6年目研修、中堅研修
	指導主事 新 早 川 潤	算数・数学、総合的な学習の時間 へき地・複式教育、教育課程、進路指導	指導主事 藤 原 真 実	外国語、理科、生活科 初任者研修、特別活動
	指導主事・ 兼生徒指導専任主事 新 糸 原 進	生徒指導、学校体育 学校保健、キャリア教育	指導主事 今 岡 直 子	特別支援教育
	指導主事・ 特別支援教育支援専任教員 福 田 ゆかり	特別支援教育に係る相談	指導主事 幼児教育アドバイザー 八 木 優	幼児教育推進 幼児教育センター

社会教育 ☎0853-30-5685

社会 教育	社会教育主事 兼 企画幹 新 安 井 寿 裕	社会教育行政事業の推進	人権教育推進員 松 本 泰 治	人権教育の取組、連携
----------	---------------------------	-------------	--------------------	------------

各市町派遣スタッフ

	【出雲市派遣】	【雲南市派遣】	【奥出雲町派遣】	【飯南町派遣】
学校教育	片岡 千修 (学力) 広渡 良 (生徒指導) 濱田 謙 (特別支援)	佐藤 文宣 (学力) 白石 睦 (生徒指導) 渡部 千秋 (特別支援)	妹 尾 俊 介	新 郷 原 秀 文
	派遣先市町教育委員会における業務、学校訪問指導業務			
社会教育	新 大 國 亨 恩 田 奈穂子	新 青 木 浩 平 原 元 宏	石 原 弘 治	若 槻 慎 也
	派遣先市町教育委員会における社会教育行政及び生涯学習振興行政に関する業務			

令和5年度 管内の主な研究指定校・指定事業

① 県事業

(5月2日現在)

指定事業名	指定校・園【研究発表会】	指定年度
しまねの学力育成プロジェクト事業	出雲市（大津小学校 第一中学校） 雲南市（大東小学校 大東中学校）	R4～R6
複式教育推進指定校事業	志々小学校	R5
人権教育研究指定校事業	加茂中学校	R4～R5
人権教育実践モデル園事業	四絡幼稚園	R5

② その他

研究会・研究大会名	指定校	指定年度
雲南市教育研究大会	加茂小学校 木次小学校 寺領小学校 西日登小学校 斐伊小学校 木次中学校	R5
飯石郡教育研究大会	志々小学校 赤来中学校	R5
人権教育研究指定校事業研究発表会	加茂中学校	R4～R5

「科学の甲子園ジュニア」 全国大会島根県予選大会1次予選

【期日】 令和5年7月29日（土）

【対象】 中学校1・2年生の3人1チーム

【会場】 朱鷺会館大ホール

※ 実施方法等については、
詳細が決定次第、お知らせします。



「しまね数リンピック」

【期日】 令和5年10月29日（日）

【時間】 小学生の部 9:00～10:30

中学生の部 9:00～11:00

【対象】 小学校5・6年生及び中学校1～3年生

【会場】 出雲合同庁舎 雲南合同庁舎

※ 実施方法等については、詳細が決定次第、お知らせします。



令和5年度出雲教育事務所学校訪問指導について

「学校教育の魅力化を推進する学校訪問指導の充実」を図ります

「授業力育成」「生徒指導」「特別支援教育」「(新) 幼小連携・接続」の充実を学校教育の魅力化としてとらえ、各学校の教育実践を推進する支援を行います。



授業力育成

- 「各教科等の指導の重点」等を柱とした授業づくりの支援
- キャリアステージに応じた授業力育成と人材育成への支援

生徒指導

- 「生徒指導充実のための4つの視点」を生かした授業づくり支援
- 「次へのヒントが見つかるケース会議」の周知と取組への支援

特別支援教育

- 一人一人の教育的ニーズに応じた授業づくり・配慮の支援
- 特別支援教育に関する教職員の専門性の向上

幼小連携・接続

- 幼児期の育ちを円滑に繋ぐ、充実した幼小の接続期への支援

